

生物多様性—なんだかこむすかしい言葉だと思われるかもしれませんが。生物多様性とは、いろんな生きものが多様な個性・多様な関係をもちながら、ともに生きている様子のこと。森や川、海などの自然環境とひとの暮らしが切り離され、互いの関係が遠くなってしまったとき、生きものたちは次々に姿を消しはじめました。メダカやゲンゴロウなど、つい最近まで子どもの楽しい遊び相手だったものまで・・・そして期を同じくしていま、ひとまた生きづらさを感じています。東日本大震災以降、人々が思い返しつつある自然への畏敬の念とその心。私たちはもう一度、あの森や川、海に帰るときがやってきたのかもしれません。アートや音楽、自然観察、野良仕事など、その方法はたくさんあります。個性を大事にしながら、それぞれのペースで、ゆっくりと自然と「再会」していくこと。楽しくて気持ちいい暮らしかた。地球の生きもののひとつとして生きていくありかた。それが「生物多様性を身近に感じる」ということなのです。ちっともむすかしいことなんかないのです。五感を解放すれば、あなたでも生物多様性を語る言葉が自ずと溢れ出します。森・川・海・里・街をつなぐ流域思考。多様な街・ヨコハマには語るべきことがいっぱい！

第1部：講演

生きものにぎわう **b** なくらしのヒント



岸 由二 *KISHI Yuji*
慶応大学生物学教授
NPO 法人鶴見川流域ネットワーク代表

第3部：3ピーストーク and 活動現場からの中継！

3枚の写真で語る10分とそれぞれの活動現場からの生中継！

- 海** **本山 明子** 海をつくる会
- 森** **古南 幸弘** 日本野鳥の会チーフレンジャー
- 里山** **吉武 美保子** よこはま里山研究所主任研究員
- 流域** **小林 範和** 鶴見川流域ネットワーク事務局長
- 臨海** **柴田 芳宏** トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

第2部：対談



川延 昌弘
KAWATEI Masahiro
CEPA ジャパン代表理事



presenter:
MITSUMI *MITSUMI*
FM ヨコハマ 「E-ne! (イーネ!) ~good for you~」
パーソナリティ



岸 由二
KISHI Yuji



第4部：映像上映 『うごくえこよみ』



季節が変化するちいさな萌（きざし）を感じとり、言葉に表した自然の暦＝「二十四節気」を綴る映像。

navigator: **上田 壮一** *UEDA Soichi*
CEPA ジャパン、Think the Earth

第5部：ワークショップ しあわせのタネ (流域編)

「しあわせを感じる時」を老若男女問わず楽しめるワークショップ！
たくさんの言葉から生物多様性をイメージしてみます。

facilitator: **森 良** *MORJ Yoshii* CEPA ジャパン